



Quarterly
[出羽庄内国際交流
財団会報]
季刊誌

ラフォーア市から訪問団を迎え、3月12日「ニューカレドニアを中心とした南太平洋展」がオープンしました。

Vol.21

出羽庄内国際村

「 DEWA SHONAI INTERNATIONAL FORUM 」

(財)出羽庄内国際交流財団 この一年 ②~③

国際交流 こんな活動がありました ④

「庄内国際青年祭」フィナーレ ⑤

アマゾン民族館紹介ほか ⑥

ハロー出羽庄内・ワールドクッキング ⑦

インフォメーションほか ⑧

国際交流財団 一年 の活動

出羽庄内国際村では今年度も多くの皆様にご参加、ご協力頂きながら、様々な行事を開催することができました。それらを通して、さらなる国際交流活動の推進と地域に根ざした「出羽庄内国際村」を目指してまいりました。ここでは一九九九年十二月までの活動を振り返ってみたいと思います。

五月
十八日 第一回ワールドクッキング「ブラジル編」
二十四日 理事会評議員会

六月

四日 第一回フレンドシップサロン「ロシア編」
十三日 第五回ワールドバザー開催



今回はガーナ出身のマジシャン、ピリージョーさんや中国雑技の汪娟(ワンエン)さんをお招きし素晴らしいステージを見せて頂いたほか、世界の雑貨・料理の模擬店やフリーマーケットなど、沢山の皆さんに参加して頂きました。
十五日 第二回ワールドクッキング「フィリピン編」

七月

二日 第二回フレンドシップサロン「中国編」
二十日 第三回ワールドクッキング「バングラデシュ編」



八月



四日 第一回八ローワールド桑山紀彦・地球のステージ
山形市在住の精神科医でもある桑山氏が、歌声にのせて世界を紹介して下さいました。
六日 出羽庄内国際音楽祭



今回は、インドネシアより総勢二十名の演奏団「カブミ」の皆さんをお招きしました。振って音を出す竹製の楽器「アングルン」が独特の雰囲気を作り上げていました。
八月十日 留学生へ奨学金授与
十四日 アマゾン子供フェスティバル

夏休み
真つ最中の子供達が集まって、アマゾン民族館と朝日村のアマゾン自然館に行き部族や動物のことについて楽しく学びました。
十七日 第四回ワールドクッキング「中国編」



好評につき

連続企画中です



毎月第一金曜日
日は、フレンドシップサロンの日！この会は、コーヒーなどを飲みながら気軽に各月のテーマや国際交流等について話し合うもので、平成十一年度は六月から八回にわたって開催されました。今年のテーマは「外国」だったので、鶴岡に来ている留学生の方や、海外から戻ってきた日本人の方達から興味深いお話をたくさん聞くことができました。外国の名前で見ているなイメージ(中国「餃子とか」)を思い浮べてしまいますが、実際に話を聞くと、世界は広いんだということを実感させられ、まだ見ぬ異国の地を旅してみたくなるものです。

フレンドシップサロン

ニューズラッシュ編
は新たなテーマから
マで始まりますので、第一金曜日七時からお気軽にご参加してみたいかがでしょうか……。

外国語講座 ワールドクッキング



ケーキづくり講習会

毎回好評を博している世界の料理講習会「ワールドクッキング」。外国から来日している方々を講師にお招きし、お料理の数々を教えていただいています。また十二月にはリクエストでケーキ作りの講習会もありました。人気の講座の為、定員いっぱいになる事もありますが、ぜひお早めにご予約を！

国際村では皆様のご要望に応じて外国語講座を開設してきました。現在は英語講座、中国語講座のほか、ロシア語講座(講師ユフェロバ・ポリーナさん山形県国際交流員)、ドイツ語講座(講師サッド・シユメンクさん平田・松山町ALT)、スペイン語講座(講師ベソジャミン・ストリンガーさん三川町ALT)を開講しています。また、今春からはハンゲル講座も予定しています。お気軽にお問い合わせ下さい。

(財)出羽庄内

この

～ 1999年

九月



ハンガリーの民族楽器コンサート。四人で構成される演奏団で、公演前後日には市内小学校などでワークショップも行なわれました。



十月



一日 第四回フレンドシップサロン「ニュージラランド編」
二日 神秘のマヤ文明講演会
アマゾン民族企画展にちなんでマヤ文明の講演会と織物特別展

示が行なわれました。講師には、マヤ文明に詳しい林屋永吉先生、青山和夫先生、ト部澄子先生をお招きし、神話や民族衣裳などのお話を伺いました。
十三日 第二回ハローワールド岡崎利男の地球の風景

世界を旅する鶴岡市在住のアマチュア写真家・岡崎氏の写真展と講演会。素晴らしい写真やスライド、カメラワークを見せていただきました。
十九日 第六回ワールドクッキング「スリランカ編」
二十一日 イタリアオペラコンサート
二十三日 国際村祭「ハロウィン」
三十日 映画ある老女の物語「名画を観る会」が主催した映画上映会が行なわれました。

五日 留学生へ奨学金授与
五日 第五回フレンドシップサ

十一月

ロン「アメリカンバリュー」
七日 チャリティコンサート



世界各地で起こった地震災害に役立てようと結成された「しょうない大地の会」が、手作りコンサートを開催しました。
十九日 第七回ワールドクッキング「韓国編」
二十七日 留学生管内視察

地元留学生とその家族を対象に、防災学習館などの施設を見学するツアーを行い、三十七名が参加しました。

十二月



一日 第八回ワールドクッキング「ケーキづくり編」
二日 第六回フレンドシップサロン「ヨルダン編」
四日 国際村祭「サンタと撮影会・映画上映会」
四日 チャリティダンス・パーティ

収益金の一部は、NHKの歳末たすけあい募金に寄付されました。
十二日 国際村祭「リースづくり講習会」
十八日 国際村祭「ワールドフアミリークリスマス」

国際村では「国際村祭」と題しまして、地域の皆さんに国際交流を身近に体験していただくため、世界各国の文化・伝統を紹介する事業を開催してきました。

おばけカボチャでランタンづくり

十月二十三日、子供たちが「おばけカボチャ」でランタンをつくりました。オレンジ色の大らかな形のカボチャをくりぬいてできた顔はどれも楽しい表情。中にくるくると灯すと、ゆらゆらとそれが笑っているようでした。



サンタと撮影会・クリスマス映画上映会

十二月に入って国際村にも大きなツリーが飾られました。四日にはサンタとの撮影会・スノーマンの映画上映も行われました。撮影会では沢山の子供達がサンタさんからプレゼントをも

らい、中には本物(?)のサンタにびっくりする子供もいました。

ハーブのリースづくり

十二月十二日、ハーブを使ったりリース作り講習会が行なわれました。

講師は立川町にあるハーブ研究所「スパール」の上林京子さん。ハーブの効用などのお話を伺いながら、いい香りのリースが出来上がりました。



ワールドフアミリークリスマス

十二月十八日、国際村ホールを会場にクリスマスパーティーが開催されました。今年は地元高校生の合唱や、フルートとピアノの演奏が行なわれました。また子供たちはサンタさんからプレゼントをもらったり参加者が持ち寄った料理をいただいたりと、和やかなパーティーとなりました。



恒例 出羽庄内 国際村祭

一九九九年の国際交流 こんな活動がありました

六月七日、医療通訳セミナー
講習会開催。

シャブラニールは六月十一日
国際村を会場に「バンングラデシ
ユのストリートチルドレンの
今」と題して講演と交流会を
開きました。春にダツカから
帰国した白幡利雄駐在員が現
状を報告しました。



山形県国際交流協会と山形日
本語ネットワークでは、九月四

日・五日と、国際村でA E R Y
日本語指導実践セミナーを開
催

学ぶ



しました。海外技術者研修協
会の石沢弘子氏を講師に、テキ
スの使い方や教材の工夫の仕
方について学びました。

聴く



九月二十一日から二十四日
までの間、ハンガリーから民族
楽器アンサンブル「カラカ」が
来鶴。国際村での一般公演の他
高等養護学校、朝陽第六小学
校、朝陽第三小学校、ゆうあ
い「かたぐるま」作業所、若
葉幼稚園、朝陽第四小学校、
斎小学校などでも演奏会を行
ないました。

十月二十一日、カロリーナ・
ドヴォラコヴァさんの「オペ
ラアリアのタベ」が開催され
ました。これは、カロリーナさ

が、四月に鶴岡で開かれたイ
ル・ピゾンテ国際版画美術展
に出席していたことが縁で企
画されたもの。「フィガロの
結婚」など十三曲を披露。チ
エコ・プラハのモーツアルト
歌劇団のソリストの歌声に、
会場全体が魅了されました。
この公演は藤島町でも開催され
ました。

交流する

欧米の
教育に携
わって

る方々を日本に招く「国際教育
者プログラム」が七月二日から
五日まで行われました。招待者
は県内の学校を視察し、ホーム
ステイなどを体験しました。

七月十日から十三日までの間
鶴岡市と姉妹都市であるニュー
ブランズウィック市から女性訪
問団三名が来鶴しました。
アメリカコロラドカレッジの
皆さんが七月十七日から二十三
日まで庄内に滞在しました。こ
れは以前日米草の根交流サミツ



トで山形県に来たメンバーの提
案で実現したもの。学生達は山
伏修業体験や地元でのホームス
テイなどをしました。
十月十六日から「スポレクや
まがた99」に参加する韓国選
手団百十名が十五日に来県しま
した。韓国チームの選手はこの大

会で八競技に参加しました。

「日米草の根交流サミット i
n 庄内」が十一月十日から十二
日まで開かれました。これは、
ジョン万次郎ホイットフィール
ド記念国際交流センターが平成
三年から始めたもの。米国から
三十二人が来庄しホームステイ
をしたほか、NPO活動につい
ての意見交換会なども行なわれ
ました。

十二月十一日、庄内に在住の
ALIT（英語指導助手）らが養
護施設七窪思恩園を訪れ、子供
たちとクリスマススの飾り作りな
どをして交流しました。

話す



九月九日、国際村ホールで第
五十一回田川地区中学・高校英
語弁論大会が開かれました。大
会には暗唱、スピーチ各部の合
わせて三十九人が出場。そのう
ち四人が県大会に出場しました。
NHK庄内文化センターの小
学生英語スピーチコンテストが
十一月十四日開催されました。
四十二人が参加し、日頃の勉強
の成果を披露しました。

海外へ

庄内日
韓親善協
会が主催

して五月三日から七日まで、鶴
岡市の高校生を含む女性十一名
が韓国を訪れました。一行は益
山市を訪れ各関係者との交流を
深めました。

六月二十三日から三十日まで
鶴岡FC壮年サッカーチームが
韓国へ交流試合に行きました。

ニューカレドニア・ラフォア
市親善訪問団が八月四日、鶴岡
市と友好都市であるラフォア市
に向けて出発しました。団員は
市内の中学生三十一人と市職員



ら五人の三十六人。十日までの
間に現地中学校の授業に参加し
たり一般家庭にホームステイす
るなど、様々な体験をして帰国
しました。

十二月十九日から鶴岡ジュニ
ア野球チームがハワイで「親善
交流」をしました。一行は二十
五人で、試合などを通して交流
を深め二十五日に帰国しました。



草の根による国際交流

「庄内国際青年祭」フィナーレ

山口 吉彦

15年の足跡

昭和六十年、国連の「国際青年年」にちなみ始められた「庄内国際青年祭」は、海外からの留学生と地域の青年達が、国際交流を通して互いの文化や歴史を知るだけでなく、庄内において国際化を進める一助になればと企画されました。運営する地元の青年達にとっては自然・文化・芸能など庄内の魅力を再認識することになり、外国人からは体験を通してその魅力を理解してもらおうと、新たな地域興しにつながってきたのです。

99夏の青年祭 36カ国の留学生

この青年祭、今回で十五回目を迎えました。この間、第六回目には県と庄内十四市町村すべてが共催団体となり、期間中の行事がまさしく庄内一円に広がりました。また庄内空港開港イベントとの共催や国際交流の拠点「出羽庄内国際村」のオープンにより、この取り組みは全国に知られ、庄内方式の草の根交流が広まりました。

今回は三十六カ国、百三十人の留学生が訪れ、七月二十五日出羽庄内国際村での歓迎レセプ

ションを皮切りに、八幡町での体験研修、庄内各地での地域行事とホームステイ、三川町でのフォーラム・弁論大会と楽しみ、フィナーレのフェスティバルは、第一回目と同じ羽黒町月山高原牧場で開かれました。

ホストファミリー！ 行政・企業による温かい支援

延べ、八十数カ国、二千二百人の留学生を招いて交流を深めてきた庄内国際青年祭。この十五年で、庄内全域に広く外国人との交流の機会を広めるとした

所期の目的はおおよそ達成されたものと思われま。それには、地域住民やホストファミリー、行政、企業、商店などの継続した温かいご支援ご協力があつたからできたことであり、運営してきた実行委員会の代表として深く感謝申し上げます。

国際交流の 大きな森に

時代は移り、関わる人は代わっても、草の根の国際交流の心や願いは変わることなく、これまで取り組んできたすべての人



ホームステイや武道体験は大きな思い出



フェスティバルが最高潮に達し各国の言葉による地球家族宣言



たちに共通する思い出となることと思います。青年祭は今回をもってひとまず締めくくりとしていきますが、出羽庄内国際交流協会の活動や庄内国際交流協会による年間通した交流活動、ホームステイの受け入れなどはますます活発化していくと期待されます。「われら地球家族」を合言葉に進めてきた国際交流の種が芽吹き、それぞれの心の中で大きく育ち、庄内の地で見事な森となっていくことに喜びを分かち合いたいものです。



地球家族宣言

「私たちは、地球という家族の一員として、国境を越えて交流し、世界の国々の仲間と手を取り合っており、お互いに正しい理解と認識を持ち、真の意味での国際理解に努め、自らの行動を通して世界の平和をおしすすめることを宣言します。」



アマゾン民族館

ワンポイントレクチャー(3)

みなさんこんにちは。
インディオの暮らしやアマゾンについて僕ペリキートが紹介するこのコーナー。今回はインディオの飲み物について紹介します。



インディオたちが主食にしているマンジョーカからは、「カシリ」というお酒もつくることができます。

マンジョーカを毒抜きしたあと、まるめてイモだんごをつくります。そのだんごを口の中に入れてよく噛み、つばに吐き出します。そしてバナナの葉っぱでフタをして、地下に埋めます。



シボ・ダグアが生えている密林



カシリの材料となるマンジョーカ芋

こうして醗酵して、茶褐色のカシリになります。

でんぷん質が、だ液中のアミラーゼという消化酵素によって糖分にかわり、アルコール醗酵するというしくみで、非常に化学的なのです。

甘酸っぱくてとろみがあり、ヨーグルトにちよつと似てるかな。

また、普段の飲み水にも植物から出る液を使っています。

ジャングルの中にある水たまりにはアメーバや赤痢の原虫などさまざまな病原菌があるので飲み水には不適当です。

そこで、シボ・ダグアという水の出るつるを切って、水に似たその汁を飲むのです。

暑さに慣れているインディオも、その水を飲むと元気が出てくるんだよ。

アマゾン子供フェスティバル

毎年夏はワクワクの「夏休みアマゾン子供フェスティバル」の季節です。

六回目を迎えた今回は、参加者十二名という事もあり、当初予定していたスケジュールを変更して行われました。

子供達にとつて、夏休みの忘れられない思い出のひとつになったのではないのでしょうか。もちろん、私達スタッフにも……。



子供達、さすがアマゾン探険隊です。

さらに、自然館では「夏休み特別企画展示・ニシキヘビ展」が開催されており、いきなり生きたヘビに迎えられた探検隊、これにはちよつとビックリしたが、すぐ笑顔。

その後、おいしい山ぶどうシャーベットで乾いたのどをうるおして、いざ、民族館へ出発！

民族館ではクイズラリーで答えを探して走り回ったり、悩んだり笑ったりで、アツという間に時間が過ぎてしまったような気がします。

これからも楽しい企画を考えていきたいと思っておりますのでみなさん、お友達と一緒にまた参加してくださいね。



山口館長のお話に続いて、いよいよ車で朝日村のアマゾン自然館へ移動です。
突然のコース変更にもかかわらず、全く戸惑う様子のない

庄内在住の外国人の方々を紹介しします

ハロー！出羽庄内

九九年七月から、県立鶴岡南高校にA.L.T（英語指導助手）としてエミリー・ウォーカーさんが来鶴しています。エミリーさんはイギリス出身。鶴岡市に来てまだ間もないエミリーさんに、日本の印象などを伺いました。



こんにちは。イギリスのバブーから来ましたエミリー・ジェーン・ウォーカー（Emily Jane Walker）です。

私の出身地リバプールはイギリスの北にある大きな街です。昔から工業が発達した都市として知られていますがビートルズを生んだ町としても大変有名です。世界中からビートルズのファンが訪れます。

鶴岡市に来てもう二カ月になります。日本に来る前は、歴史の教師になりたいと考えていました。でも一方では世界を旅行

したい、学校を卒業してすぐ教師になってしまおうのはつまらないとも考えていました。日本のJETプログラムは他の国にも行けるし、教師という仕事も得られるし、他国の教育システムを経験できるという、私にぴったりのプログラムでした。

今は基本的には鶴岡南高校で英語を教え、温海高校にも行っています。日本もイギリスも若者は若者、あまり大差はありません。ただ日本の生徒はみんなシャイですね。私が質問をする時、「今の何？答え何？」とかひそひそと隣同志囁きあったりしています。でもA.L.Tがいることで生徒が生の英語に触れるのは素晴らしいことです。

私がお会いした英語の先生は皆さん素晴らしいですが、授業を日本語に頼りすぎているのではないかと思っています。発音などはテープに頼っています。教科書やテープの教材はすべてアメリカ英語でしょう。それは私の発音とは違いますし綴りも時々違います。イギリス人としては

時々教えるのが難しいことがあります。でも日本人の先生は本当によく文法を知っていますし英語を言語としてよく知っていると思います。

私が大学生だった時はよく講義の後に友人とアフタヌーンティーを飲んでゆっくりしていました。今ではそれはできません。ティーの時間はよく友人と楽しい話をしたり、問題について話し合ったりしました。すこくいいでしょう。

私の母はシンガポール人だったので、よく日本人に間違えられるのが少し困ります。当然日本語が話せると思って、初対面の人とはほとんど話し掛けてきません。鶴岡に来て、人も、学校も仕事も好きになっていきます。それに景色がいいですね。今から春の桜を見るのを楽しみにしています。日本語を習うのも楽しいし、今は羽黒太鼓を習っています。日本にいる間いろいろな所に旅行に行きたいと思っています。それから日本の歴史についても勉強したいですね。歴史が専攻ですから。そして英語教師としてベストを尽くしたいと思っています。

（この部分は上記の重複内容と見えます）



食を通して世界を知ろう

ワールドクッキング 好評開催中

大好評のワールドクッキング、7月はバングラデシュ編、8月は夏休み企画で小学生も参加できる中国編を開催しました。バングラ編では、香辛料を沢山使い色鮮やかな料理が新鮮な印象でした。本場の辛さに挑戦したかったという感想が多かったです。中国編では親子で又、子供たちだけの参加もあり、夏休みらしく和気藹々と包子（肉マン）作りが行われました。今回は、3種類作った中から“大根と人参の包子”をご紹介します。

<材料5個分>皮：薄力粉230g、イースト0.8g、具：豚ひき肉150g、長ネギ1/2本、大根1/4本、冷凍むきエビ80g、塩・醤油・こしょう・ごま油・サラダ油各少々
<作り方>皮：薄力粉とイーストを混ぜ、ぬるま湯を加えてよくこね2時間程発酵させる、具 大根を輪切りにし湯通しした後、長ネギ、人参、エビと共にみじん切りする。ひき肉の上で大根と人参の水気をしぼる。 に水を少

ずつ加え粘りが出るまで混ぜる。 にネギ、醤油、胡椒、ごま油、サラダ油を加える。 に大根と人参を加え混ぜる。 にエビを入れて混ぜる。包む 発酵した皮に塩水をかけ、タンサンを加えてよくこねる。 を棒状にして、ピンポン玉位の大きさにちぎる。 を麺棒で丸く薄く伸ばし、具を包んで15分位蒸して出来上がり！

皮から作るので時間はかかりますがお友達やお子様と一緒に作れば、楽しく美味しい時間が過ごせますよ。どうぞ挑戦してみてください。

↓バングラ編：でき上がりの図



↑中国編：皮をのばしているところ

インフォメーション

出羽庄内国際村
アマゾン民族館

2000.4 ~



ニューカレドニアを中心とした

南太平洋展 オープン

平成十二年のアマゾン民族館企画展示は「ニューカレドニアを中心とした南太平洋



展」として三月十二日にオープンしました。鶴岡市とニューカレドニアのラフォア市が友好都市盟約を結んで5周年ということもあり、記念すべき開催となりました。本物のアウトリガーカヌー、カースの尖端飾り、神像、オ

オジャコ貝など、南太平洋の生活や文化を紹介する約三百五十点が展示してあります。是非お越し下さい。



庄内出身の協力隊員による
写真展

今年二月より、庄内在住青年海外協力隊OB・OGの皆さんが、国際村一階ロビーに各国の写真を展示しています。今後の展示テーマ予定は、四月・中南米、五月・子供編、六月・オセアニア、七月・アジアです。写真展は来年一月まで続きます。



日米草の根交流サミット
参加者募集中

今年で第十回目となる日米草の根交流サミット。今回はアメリカ・シカゴと周辺地域を訪れます。これは日本とアメリカの市民同士が文化や習慣に理解を深め、個人レベルでの友情を育むことを目的として始められたもの。毎年交互に両国市民が相手国を訪れています。今年の日本からアメリカへ訪問します。観光旅行では味わえないアメリカを体験してみませんか？

一緒に日本語を
学びませんか

国際村では日本語教室を二クラス開設しています。

○毎週日曜日

午後二時～午後四時まで

○毎週火曜日

午後六時三十分～

午後八時まで

様々な国からおいでの皆さんが楽しく日本語を学んでいます。

授業は小グループ制。ボランティアの講師が指導します。詳しくは国際村までお問い合わせ下さい。

(We have 2 Japanese classes. Want you join us?)

あなたも賛助会員に！

財団の活動主旨に賛同され、事業運営にご支援いただける会員を募集しています。

年会費：一般 3,000円
高校、大学生 2,000円
小、中学生 1,000円
法人1口 10,000円(何口でも結構です)

期日：翌年3月31日まで

会員の方には、財団機関誌等の送付、アマゾン民族館の無料入館、語学講座受講料の割引などの特典もあります。

平成11年度 賛助会員 (その2)
ご加入ありがとうございました。

個人会員 入会順・敬称略

本間亜澄香 渡会 俊仁 吉住 光俊
百瀬 倫弘 大戸 喜春 五十嵐 武
三浦 雅史 吉木 由美 菅原 英介
佐藤 瞳 阿部 禎郎 鈴木 壽和
生田 彩佳 斎藤 昭子 小野寺雄次
渡会 幸雄 佐藤 奈美 石塚 千枝

団体会員 入会順・敬称略

(有) 阿部園芸 オリエンタルモーター(株)
(株) 庄内銀行 鶴岡ライオンズクラブ
庄内国際交流協会 秋山鉄工(株)
鶴岡南ロータリークラブ 太平ビルサービス(株)

出羽庄内国際村
アマゾン民族館 休館日

3月21日(火)
4月17日(月)

「お詫びと訂正」

前回の会報(20号)に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

●六頁「中国のお正月」

「来年の旧正月は二月四日」「二月五日」

●八頁「NB市へ中学生派遣」

「五回目となった今回」

「六回目となった今回」